

教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」

# 中朝日子

あ さ ひ こ

佐渡市立畑野中学校 学校だより

令和5年1月10日(火) 地域拡大号

著・編 校長 雑賀 裕 (TEL 66-2058)

<http://hatano-js.sado.ed.jp/>

E-mail hatano-js@sado.ed.jp

## 令和5年度からの休日の段階的「部活動地域移行」に向けて

令和5年度から、休日の部活動を段階的に地域移行していきます。それに向け、佐渡市に限らず各市町村教育委員会、各競技団体や地域のスポーツクラブが、休日に学校部活動が行われなくなることを前提に準備を進めています。

**学校部活動 → 地域部活動へ**

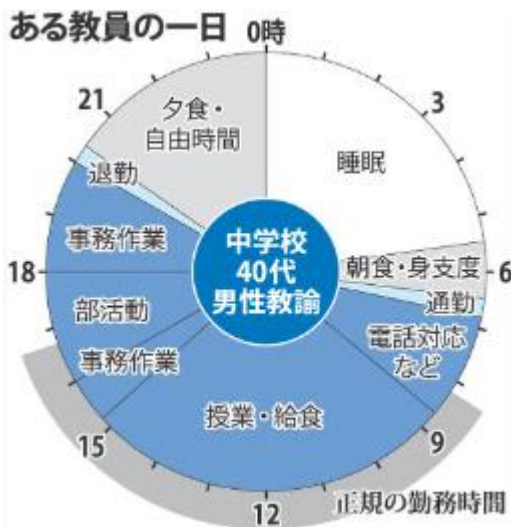
**・令和3年度 県内6市町で「地域部活動」を実施。**

国委託事業を活用したモデル事業地区:村上市、胎内市、長岡市、妙高市、燕市、津南町

**・令和4年度 県内10市町村で「地域部活動(のべ36種目)」を実施。**

村上市、胎内市、長岡市、柏崎市、妙高市、糸魚川市、聖籠町、湯沢町、刈羽村、燕市

少子高齢化が進み、子供の数も年々減っている現代の日本では、学校の教員数も不足していることをご存知でしょうか。日本全国で教員が足りない中、教員一人一人の業務が増えています。



**・月の残業時間が80時間を越えている教員が多い。**

**・何時間働いても月給は固定。**

**・「自主的」にやらざるを得ない仕事が多い。**

**・深刻な人手不足(病休による欠員、なり手の不足)。**

**・放課後にもなる問題行動や保護者への対応。**



日々の時間外労働が、超過勤務の上限である『月 45 時間・年 360 時間』を越える勤務実態を生んでいます。

過労死リスクが  
高い勤務形態

## ◇部活動の地域移行に向けた佐渡市の取組状況・プラン◇



### 令和4年度 佐渡市のスケジュール

月	検討懇談会等	教育委員会の取組
R4年 7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート作成【学校教育課】</li> <li>指導者、受け入れ団体確認調査【社会教育課】</li> </ul>
8月	第1回懇談会 ・目的等共有 ・スケジュール共有 ・アンケート内容検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者、各種団体との協議【社会教育課】</li> </ul>
9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート実施【学校教育課】</li> <li>アンケート集計【学校教育課】、課題整理</li> </ul>
10月		
11月	第2回懇談会 ・課題、ニーズ共有 ・受け入れ体制協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体との協議【社会教育課】</li> </ul>
12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>兼務教員意向確認</li> </ul>
R5年 1月		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者説明（1月中、中学校区単位別）【学校教育課】</li> <li>支援体制整備</li> </ul>
2月	第3回懇談会 ・地域体制、受け入れ団体協議	
3月	受け入れ団体代表者会	<ul style="list-style-type: none"> <li>申込み状況整理、申込み状況による団体調整</li> </ul>
4月 ～		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒説明、募集開始（4月）</li> <li>地域活動開始（5月）</li> </ul>



佐渡市でも他の市町村同様に、令和5年度よりはじまる段階的な地域移行を行い、受け入れ整備体制の一層の充実と検討懇談会を引き続き実施する予定で動いています。

### 部活動の地域移行への接続のため、畑野中でも検討を始めます。



学校部活動	休日の運動部活動の地域移行に向けた改革集中期間			
	R5	R6	R7	R8以降
平日の活動終了時刻 (R4:夏 17:20・冬 17:00)	<b>部活動の地域移行に向けた改革集中期間</b>  学校部活動について、検討を行い、段階的に縮減を図っていきます。  			
土・日の活動休止				完全実施 (学校部活動は行わない)
土・日の大会参加等 対外活動の精選				○個々の希望に応じた活動の機会確保・充実  ※平日の中体連・教育委員会主催大会のみ参加 (振休対象大会を含む)

部活動の地域移行に向けた動きに合わせ、“休日や平日の部活動”の見直しを図り、教員の過剰な負担軽減を考慮した適切な校内指導体制の構築に取り組んでいきます。